

温対新聞

12月7日(月)



首相「省エネルギーの徹底」を宣言

一般的な直管蛍光灯と直管形LEDランプの比較

	消費電力	寿命	電気代※
蛍光灯	42W	12,000時間	2,716円
LED	11.9W	40,000時間	769円

※1日あたり12時間点灯×245日
電気代0.022円/Whとして計算

春日井市では、経費削減と同時に、温室効果ガスの排出量の削減が期待できるLED照明の導入を積極的に進めている。本庁舎においては、LED化の効果の大きい執務室など、平成27年度から開始しており、令和2年度で交換が完了する予定となっている。

さらに、今年度は、市道の道路照明灯を約3000基、市で管理の公園の照明灯を約100基LEDに交換している。これにより、市が管理する市道と公園の照明は、ほぼ全てLEDに交換したことになる。

また、総合体育館や西部ふれあいセンターなど各施設において

菅首相は10月26日の内閣総理大臣所信表明演説において「2050年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」と宣言し「省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入する」とも表明した。国はこれまで「今世紀後半のできるだけ早い時期に脱炭素社会を実現することを目指す」という姿勢にとどまっていたが、2050年という具体的な数字を示したのは初めてとなる。

この宣言を受けて、各自治体ではますます省エネに向けての取組みが進んでいくことになる。

春日井市、LED照明化を加速 コストカット、温暖化対策を同時に実現へ

も、今後LED照明への設備の更新を予定している。

12月は地球温暖化防止月間

パネル展示など啓発事業を展開

市では、12月11日(金)～17日(木)、市庁舎1階市民ホールにおいて、環境省が定める「地球温暖化防止月間」に合わせ、地球温暖化対策のパネルを展示する。

春日井工業高校が作製したEVカーや市内事業者による省エネ機器の展示、多治見市とも連携し、市民に広く啓発する。

また、17日(木)には市民向けに、安全運転にも繋がる「エコドライブ講習会」を開催し、CO₂排出削減を図る。

コロナに負けずウォームビズを

春日井市役所地球温暖化対策行動指針2020-2030に基づき、職員への取組み項目の一つとして、12月は「ウォームビズで過度な暖房の抑制」を掲げ、暖房時の室温を20℃で快適に過ごすライフスタイルを推奨する。

担当者は「新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、こまめな換気を行っている中、暖房の温度を上げたいという気持ちもわかる

が、室温設定の調整による省エネ効果は、夏よりも冬のほうが大きいので、職員一丸となってウォームビズを取組み、暖房の抑制に繋げて欲しい。小さな積み重ねが地球温暖化対策への第一歩となる」と話していた。

【令和2年12月の取組み項目】

- ・ウォームビズで過度な暖房の抑制
- ・ふんわりアクセルの実施や車内エアコンの適正使用でエコドライブの実践(“エコドライブ10のすすめ”でCO₂削減)



昨年のエコドライブ講習会の様子

なる気持ちもわかる



ウォームビズについて
適切な暖房利用で
地球温暖化を防止!